



子育てを支援し、女性の社会参画を推進

主担当部局：こども・女性局



### 目指す姿

安心して子育てできる環境づくりを推進し、次世代を担う子どもの心と命を守ります。また、就労支援を通じた女性の社会参画の促進を目指します。



● 仕事と子育てを両立できる環境づくりのため、

保育所待機児童の  
解消と多様な保育  
サービスの充実  
を図ります。

● 平成27年までに女性の  
就業率(対象20~64歳)  
を

61.5%

まで高めます。

(平成22年:奈良県56.5%[全国最下位]、  
61.5%は平成17年の全国平均)

● 平成27年度までに男性の  
家事関連従事時間(1日平均)を

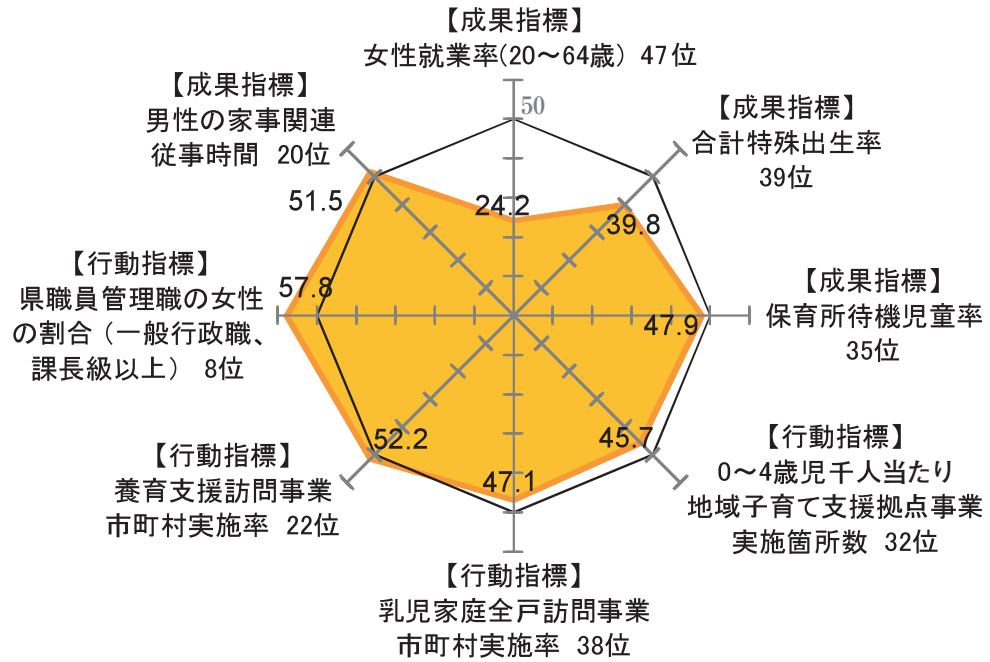
50分

にします。

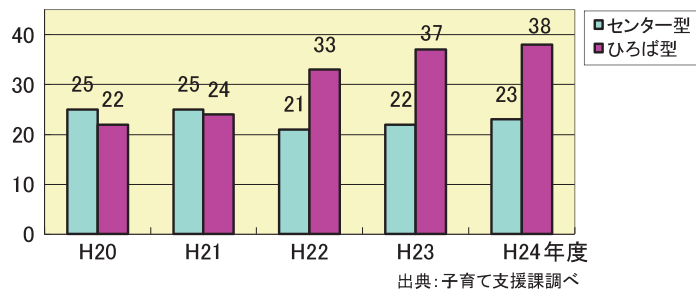
(平成23年:44分)

分析

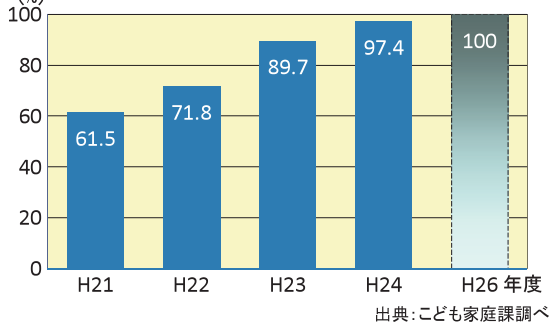
■ 主な指標



箇所 地域子育て支援拠点事業実施箇所数



(%) 市町村の乳児家庭全戸訪問事業実施率



- 子育て親子を対象に交流・相談等を実施する地域子育て支援拠点事業箇所数は年々増加しています。0~4歳児千人当たりの実施箇所数割合は、平成21年度全国35位から、平成24年度は32位に上昇しました。
- 乳児家庭全戸訪問 (H23: 35市町村→H24: 38市町村) 及び養育支援訪問事業 (H23: 26市町村→H24: 27市町村) を実施する市町村は年々増加しています。

## 戦略1 子育て支援を充実します。

主担当課：こども・女性局 子育て支援課

### 目標

- ▶ 子どもが病気の時や病気の回復期等に一時的に保育する**病児保育や病後児保育等の実施箇所数**を、平成26年度までに**29箇所**にします。  
(平成24年度：18箇所)
- ▶ 平成26年度までに子育てに**心理的・精神的な不安・負担を強く感じる母親の割合を10.0%以下**にします。(平成20年度：19.8%)

### 取り組み

#### 保育所待機児童の解消・多様な保育サービスの充実

#### 保育士確保対策

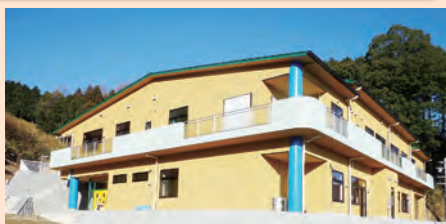
#### 放課後児童クラブの充実

#### 家庭の子育て力の向上

#### 地域の子育て支援の充実



子育て中の親子の交流等の場「なら子育て大学」  
(大阪樟蔭女子大学・関屋キャンパス)



宇陀市における保育所整備（しらゆり保育園）

### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
保育所待機児童の解消・多様な保育サービスの充実				
◎保育所緊急整備の推進	民間保育所新設・増改築等に対する支援			
◎延長・病児・病後児保育等ニーズに対応した保育の実施	多様な保育の実施に対する支援			
保育士確保対策				
◎保育士人材バンクの設置・運営	求人・求職のマッチング、求職者に対する研修等			
◎保育士の魅力を発信する取り組み	保育士についての検討会、保育士セミナーの開催等			
◎子育て女性の保育士資格取得を支援する取り組み	保育士試験に向けた研修、保育実習体験			
放課後児童クラブの充実				
◎放課後児童クラブの設置・運営支援	クラブの運営費・施設整備費に対する支援			
家庭の子育て力の向上				
◎「お祝いメッセージ」等による子育てを応援する取り組み	メッセージカード等の贈呈	検証		
◎大学との連携による公開講座「なら子育て大学」等の取り組み	「なら子育て大学」・「出張・なら子育て大学」の実施			
地域の子育て支援の充実				
◎地域子育て支援拠点の充実に向けた取り組み	ネットワーク会議の運営・従事者資質向上等研修の実施等			
◎「なら子育て応援団」の充実に向けた取り組み	応援団・利用登録者増に向けた広報・情報提供			

## 戦略2

### 児童虐待防止対策を充実します。

主担当課：こども・女性局 こども家庭課

#### 目標

- ▶ **奈良県児童虐待防止アクションプラン(改定)に基づき、児童虐待の実態把握・要因分析や虐待を受けた子どものケアと家庭への支援などの各種の取り組みを実施し、児童虐待防止の強化・充実を目指します。**
- ▶ **児童虐待未然防止研修プログラムを、平成28年度までに全市町村での実施を目指します。**
- ▶ **児童虐待防止の支援ツールである「コモンセンス・ペアレンティング」のトレーナー資格取得者によるプログラムを実施する市町村を平成28年度までに18市町村にします。(平成24年度:2市町村)**

#### 取り組み

児童虐待の実態把握・要因分析の充実

児童虐待の未然防止と再発防止に向けたプログラムの充実

地域の見守り機能の強化

市町村の児童相談機能・体制の強化

家族再統合に向けた家庭支援の充実

被虐待児童に対する社会的養護の充実

県の児童相談機能・体制の強化



オレンジリボン  
街頭キャンペーン  
(近鉄奈良駅前)



中央こども  
家庭相談センター  
新こども相談棟

#### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
児童虐待の実態把握・要因分析の充実				
○虐待相談の実態調査・要因分析の実施		調査実施、分析結果に基づく対応策の検討		
○重症事例検証の実施		重症事例の検証、報告		
児童虐待の未然防止と再発防止に向けたプログラムの充実				
○児童虐待未然防止研修プログラムの実施	研修プログラム作成	市町村におけるプログラム活用		
○親支援スキル向上のための研修の実施		継続実施・内容充実		
地域の見守り機能の強化				
○オレンジリボンキャンペーン等による啓発		継続実施・内容充実		
市町村の児童相談機能・体制の強化				
○市町村の児童虐待対応ネットワークの機能強化		アドバイスチーム・支援専門員による支援		
○研修等による職員の専門性の向上		市町村・関係機関職員に対する体系的研修の実施		
家族再統合に向けた家庭支援の充実				
○被虐待児童の保護者に対する家族再統合プログラムの実施		プログラム実施・効果検証		
被虐待児童に対する社会的養護の充実				
○施設退所後の児童への支援の充実		現状分析・検討		
○里親制度の普及啓発、里親登録・委託の推進、里親スキル向上		継続実施		
県の児童相談機能・体制の強化				
○県・市町村の連携体制の充実・強化		県と市町村の役割分担、情報提供等のルールの検討・確立		
○児童福祉司の資質向上など対応体制の強化		OJTの充実・専門研修の充実		

### 戦略3

## 女性の就業率の向上を図り、男女共同参画を推進します。

主担当課：こども・女性局 女性支援課

#### 目標

- ▶ 全国平均と比べて落ち込みが大きい、子育て世代である**35～39歳の女性の就業率**を平成27年までに**60.2%まで高め**ます。  
(平成22年：奈良県56.2%で全国最下位。60.2%は平成17年の全国平均)
- ▶ 男女の固定的役割分担意識の解消を図り、平成27年度までに**女性の仕事の平均時間を5時間**にします。  
(平成23年：4時間50分)

#### 取り組み

女性の就労支援（再就職支援・就業継続支援・起業支援）

男女共同参画に関する啓発の推進

女性への暴力防止対策



ワーク・ライフ・バランス推進マニュアル



男女共同参画川柳コンテスト



就職をめざす子育て女性のための相談窓口 (エルトピア奈良)

#### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
女性の就労支援（再就職支援・就業継続支援・起業支援）				
◎「子育て女性就職相談窓口」の運営		相談・情報提供の実施、各種セミナーの開催		
◎女性の起業支援	課題把握・検討	女性起業家の養成、相談の実施、ネットワークづくり		
◎働く女性を対象とした講座の開催・相談の実施		各種講座の開催・相談の実施		
◎翻訳者の人材養成	検討		事業実施	
◎事業所に対するワーク・ライフ・バランス推進支援		事業所に対する啓発推進、事業所の取組への支援		
男女共同参画に関する啓発の推進				
◎男性の家事育児や男女共同参画に関する参加イベント		啓発イベント等の開催		
◎女性の活躍促進に関する男女の意識啓発		現状把握のための調査、意識啓発のためのセミナー開催		
女性への暴力防止対策				
◎DVに対する啓発、研修の充実		DVフォーラム等の開催		
◎DV被害者支援カードの集客施設等への設置		事業実施		

## これまでの成果

民営保育所新設・増改築の支援に取り組み、**保育所定員が前年度と比較して860名増加**しました。(新設・増改築以外による定員増分を含む)  
(平成24年4月1日: 24,225名→平成25年4月1日: 25,085名)

放課後児童クラブ施設整備の支援に取り組み、**クラブ数が9箇所増加**しました。(平成25年度: 254箇所)

「子育て女性就職相談窓口」の開設(平成23年6月)から2年間で、相談対応した女性209名のうち**84名の就職が決定**しました。

児童相談機能や保護児童の生活環境改善のため、**中央こども家庭相談センター整備を実施**しました。(平成24年～25年 新棟建設・既存棟撤去、平成26年1月 竣工)

「奈良県児童虐待防止アクションプラン」(平成23～25)について、現行プランの検証等を踏まえ**改定**し、施策の充実・強化を図りました。

〈主な取組事項〉

- ・児童虐待の実態把握・要因分析
- ・子どもと家庭を見守る県民の意識づくり
- ・虐待を受けた子どものケアと家庭への支援

## 主な指標の動き

### よくなっている指標

#### ◆女性の就業率(対象20～64歳)

53.0%(全国47位)[H17] → 56.5%(全国47位)[H22]  
・依然全国最下位であるものの、30～34歳の就業率が上昇しました。

#### ◆男性の家事関連従事時間

36分(全国38位)[H18] → 44分(全国20位)[H23]  
・男性の家事参加が進んでおり、家事関連従事時間は増加しています。

#### ◆合計特殊出生率

1.22(全国43位)[H18] → 1.32(全国39位)[H24]  
・平成24年全国平均1.41と比較すると、数値は大きく下回っていますが、平成18年からの増加率は全国平均を上回っています。

### 変化が見られない指標、低下している指標

#### ◆保育所待機児童率

0.76(全国31位)[H18] → 0.91(全国35位)[H25]  
・保育所整備による定員増を進めてきましたが、入所希望児童数が増加しており、待機児童率も増加しています。